

(社)日本糖尿病教育・看護学会  
**糖尿病透析予防支援 質向上のための研修標準プログラム**

**【研修の目的】**

糖尿病チーム医療において、糖尿病腎症第2期以降の患者に対し腎症悪化予防支援を行っている専門職者を対象とし、その支援の質向上を図る目的で研修を行う

**【受講対象者】**

以下の条件のいずれかを満たしていること

①糖尿病腎症患者への指導や看護ケアの経験があり、事例検討のディスカッションに積極的に参加ができる者

②糖尿病透析予防指導管理料にむけた取り組みを実施している、あるいは、予定している専門職者

研修形態とタイトル、担当者、所要時間

講義1	<p>診療報酬「糖尿病透析予防指導管理料」新規評価の位置づけと課題  <b>【講師】</b>看護師(日本糖尿病教育・看護学会理事あるいは相当者が望ましい)  <b>【ねらい】</b>「糖尿病透析予防指導管理料」新規評価の位置づけ及びチーム医療における専門職者の役割が理解できる  <b>【内容】</b>糖尿病患者の療養における糖尿病腎症悪化予防とチームで関わることの意義/チーム医療の概論/チームにおける看護師等の役割</p>	40分
講義2	<p>糖尿病腎症とは:各期の病態生理・治療  <b>【講師】</b>糖尿病専門医  <b>【ねらい】</b>身体的側面からのアセスメントを深めるため、糖尿病腎症の各期の病態・治療を理解する  <b>【内容】</b>各期の特徴を踏まえた糖尿病腎症の病態生理/治療(運動療法、検査、腎代替療法を含む)</p>	50分
講義3	<p>糖尿病腎症における栄養管理  <b>【講師】</b>看護師・管理栄養士  <b>【ねらい】</b>            ①腎症各期における栄養摂取内容の違いと意味と、各期の患者特性を理解する            ②糖尿病食と腎症各期の違いを理解し、腎症の各期における具体的な栄養指導を学ぶ  <b>【内容】</b>腎症各期における栄養摂取内容の違いと意味/各期の患者特性/食塩の減らし方/タンパク・カリウム制限方法/糖尿病食との違い/患者への指導ポイント</p>	60分
講義4	<p>糖尿病腎症第2期/第3期Aの看護支援  <b>【講師】</b>看護師  <b>【ねらい】</b>糖尿病腎症(第2期以上)の診断に伴う患者心理を理解し、腎症を悪化させないための生活調整支援につなげる  <b>【内容】</b>病気(腎症)に対する捉え方の理解/心理的サポート/腎症を進行させない生活調整-血圧と血糖コントロールの治療の重要性を伝える技術/セルフモニタリング指導技術/生活における食事や水分摂取の方法・コツを伝える技術/教育技術(教材・教育方法等)等…シミュレーション事例を用いて説明する</p>	80分
講義5	<p>糖尿病腎症第3期B/第4期の看護支援  <b>【講師】</b>看護師  <b>【ねらい】</b>腎機能低下に伴って現れる身体症状、心理的変化を理解し、腎症の進行を遅らせるための生活調整支援につなげる  <b>【内容】</b>腎症が進行した患者の病の捉え方の理解/心理的サポート/腎症の進行に伴う症状のマネジメントとその対処の指導技術/運動療法や食事療法の変化を伝える技術/感染予防等…シミュレーション事例を用いて説明する</p>	80分
演習	<p>事例検討:糖尿病腎症2期、3期A、3期Bへの生活調整支援  <b>【ねらい】</b>病期によって療養法が変化中、その人の生活と療養法の折り合いがつかうように働きかけたら効果的であるかを事例検討を通して学ぶ            事例提示10分 グループディスカッション45分 発表30分 解説 医師5分 看護師5分 管理栄養士5分  <b>【講師】</b>医師・看護師・管理栄養士            *ここでは、一人の事例を、病期(2期、3期A、3期B)に分けたグループで検討し、学びを共有する。検討する際は、時間軸で捉えること 病期によって療養法が変化中、その人の生活と療養法の折り合いがつかうようにどう調整するか、どのように働きかけていったら効果的であるかについてを検討する</p>	100分

**【講師の条件】**糖尿病腎症の患者への看護ケアを専門的に実践している、あるいは、糖尿病腎症患者の支援に関することを研究テーマとして取り組んでいる方。